

平成23年度

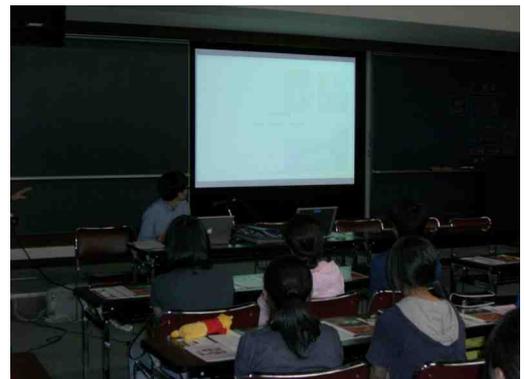
「建築系高校生設計製図講習会」夏期講習・「設計製図指導者研修会」夏期研修 報告

製図分科会 主査 吉城 守  
(埼玉県立春日部工業高等学校)開催日：平成23年 7月9日(土)・10日(日)  
場 所：軽井沢周辺、南ヶ丘倶楽部(中央工学校研修所)  
内 容：第1日目

- ・開講式
- フィールドワーク1
  - 大賀ホール(鹿島デザイン)
  - ギャラリー桜の木(中村拓志)
  - 日本聖公会ショー記念礼拝堂(A.C.ショー)
  - 軽井沢クリークガーデン(山本良介)
  - 室生犀星記念館
  - 軽井沢聖パウロカトリック教会(アントニン・レーモンド)
  - 万平ホテル(久米権九郎)
  - 石の教会・内村鑑三記念堂(ケンドリック・B・ケロッグ)
  - ハルニレテラス(東利恵)
  - ( )内は設計者
- ・特別講義
  - 講師 佐々木達郎 氏 (東 環境・建築研究所)
- ・建築系高校生対象コンペティション
  - 概要説明及び歴代入賞作品見学



- 第2日目
  - ・施設見学及びスケッチ
    - 千ヶ滝(能舞台)、南暁(茶苑)、三五荘
  - ・閉講式
  - ・フィールドワーク2
    - 軽井沢駅周辺 自由見学



参加者：生徒：1都4県より42名、教員：1都5県より10名参加

昨年度に引き続き、フィールドワークを体験し、設計イメージの深化を図ることを目的に生徒を対象とした「設計製図講習会」。フィールドワーク手法を研修し、他校職員との交流を通して、指導実践の情報交換を図ることを目的に教員を対象とした「設計指導者研修会」を同時に実施しました。この企画も製図分科会として3年目の実施となります。

今年は52名と、今までになく多くの生徒並びに先生方に参加していただきました。主催者側としては、天候を大変心配していましたが、初日のフィールドワークで若干通り雨に会いましたが、概ね予定通りに進みました。初日の夕食後の特別講演では、佐々木達郎先生(東環境・建築研究所)に、軽井沢周辺で手掛けた建築物についてのレクチャーをはじめ、設計を進めるうえでの心構えなど、貴重なお話をしていただきました。特に「良い建築物を造るには、チームワークが大切である。」とのお話は、生徒達にとって大きな刺激となりました。お忙しい中、ご講義いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

2日間という短い日程で忙しい部分もありましたが、大変有意義な講習会並びに研修会になったと思います。来年度以降も、この企画を継続していきたいと考えております。

最後になりますが、中央工学校様には全面的なご協力を頂き、改めてお礼を申し上げます。更に直接ご指導いただきました中央工学校の松田正之先生、浜野和孝先生、生川清孝先生、佐藤真実先生をはじめ、南ヶ丘倶楽部のスタッフの皆様には感謝申し上げます。今後ともご支援ご協力いただければ幸いです。

## 参加生徒感想（一部抜粋）

・夜の講義が、とても勉強になりました。講義の始まりに、「良い建物を造るには、良いチームが必要だ。」ということをおっしゃっていましたが、まさにその通りだと思いました。良い案があっても、良い技術があっても、それだけでは建物は建ちません。チームになり、良い案、良い技術を連携させることで、良い建物が出来上がるのだということを改めて知る機会となりました。これは日常生活にもつながることだと思うので、忘れないようにしたいと思います。他県の同年代の人との交流は良い刺激になりました。1泊2日ありがとうございました。（1年女子）

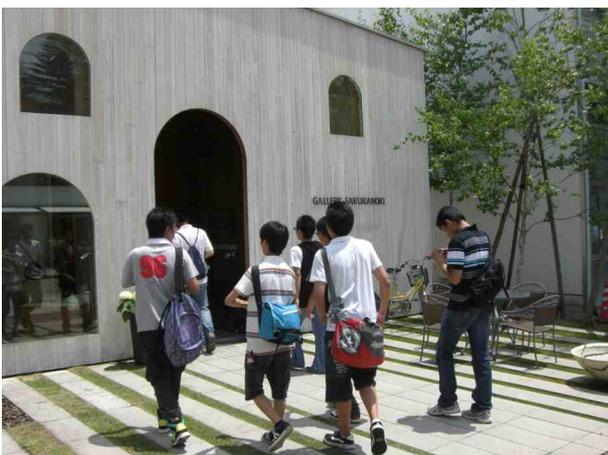


・今回の講習会に参加させていただき、ありがとうございました。やはり、インターネットや本などで見たのとは大きくちがいました。その建築物ひとつひとつがもつ独特な雰囲気・オーラを見られ、すごく楽しかったです。この講習会で、自然を壊して造る建築物ではなく、自然を守り調和する建築物が、温暖化で騒がれている現在の日本で、未来を守る建築なのではないかと感じました。軽井沢の町並みは、将来の日本の町並みなのかも知れないと思いました。私も努力をして、将来良いチームをつくり、良い建築物をつくりたいです。（2年女子）

・今回で三年続けての参加でしたが、また新しいものが入り入れられたかと思えます。三年連続なので「今年はもういいか」と思っていたのですが、軽井沢の面白さにひかれて、また来てしまいました。最初に来たときよりも、建物が増えたり減ったりしていて、同じ軽井沢でも違う顔に見えます。同じ所でも新たに気づいたことや思ったことが沢山あるので、三年続けてここに来た意味もあると思います。他の皆さんも三年続けて来てみると勉強になるので、来られる人は来年も来てみた方が良いでしょう。三年連続ありがとうございました。（3年男子）

・1日目は長時間バスの中にいたので、正直ぐったりしていたのですが、最初に見たクリークガーデンで一気に疲れが吹っ飛んでしまいました。その後の石の教会やギャラリー桜の木も、とっても私の心に残りました。刺激的な1日を過ごすことができました。2日目は、朝6時からのフィールドワーク（散歩）が、とても良い経験になったと思います。南眺も私が想像していたよりもきれいで感動しました。能舞台も初めて見たのですが、すごい迫力でした。舞台の壁に描かれていた松もテレビで見たものと同じで凄かったです。今回の講習会を通して沢山の経験ができました。（3年女子）

・2日目の朝の散歩で別荘を見られたのが良かった。洋風和風さまざまな別荘を見て、とても勉強になった。南眺・茶室など釘を一本も使っていないところなど驚いた。広めの縁側や低い屋根、皮の付いたままの丸太など、とても参考になった。この2日間で学んだことを色々な場面で活かしたいです。2日間ありがとうございました。（1年男子）



・このフィールドワークを通じて、今までに見た建築物も深く考えることができました。ギャラリー桜の木軽井沢店での内部の遠近法や生えている木をそのまま残すために板材を切り抜いたウッドデッキの方法など、コンペの参考にしたいと思いました。スケッチの講習会で先生に教えていただき、スケッチの描き方が少し分かった気がします。軽井沢の講習会に参加して本当に良かったと思いました。（2年男子）

・実際に建築物をまわっている時は、ただただ「すごい」「きれい」などと思うばかりでしたが、夜の佐々木先生による特別講義で1日のまとめができました。どの建築物でも感じた魅力は、自然を生かした設計なのだと分かりました。だから、木や石、周りとの一体感を生むガラスが使われていることによって、落ち着ける空間になっていると思いました。しかし、その中でも多くの人が集まれる空間（ハルニレテラスやトンボの湯など）と緊張感の生まれる空間（教会など）を分けられており、すごいなあと思いました。また、佐々木先生のお話では、“コミュニケーション能力・自分の意見を表現し伝えること”ということが、とても大切であると学びました。これから意識をしたいと思います。また、しっかりとした意見をもてるように、自分の興味を追及することも努力したいと思います。（1年女子）

・2日目は朝の散歩がとても気持ち良く、虫は少し邪魔であったが、色々な別荘を見られて良かった。森の中は、木々が多く、その間から伸びてゆく朝日はとてもきれいだった。広い土地に別荘があったが、一つ一つ形状、土地の利用、構造などが違って、多くの建物を見ることができて良かった。昼には、能の舞台や茶室、美術館を見学した。特に、能の舞台や茶室は、普段なかなか見ることができないので、今回そういう機会があったことは、とても良かった。また、いろいろな地域の建物を見て、たくさん勉強したいと思った。2日間という短い期間でしたが、貴重な体験をありがとうございました。（3年男子）



・ギャラリー桜の木では、あまり大きくない建物の中にたくさんの工夫が施されていると思いました。建物を一直線に突き抜けるアーチ状の通路やレースを貼り付けられている壁が、特に印象に残っています。万平ホテルは、古き良き時代の日本と外国建築が合わさったような外観がとても格式が高く美しいと感じました。石の教会では、その独特のフォルムに目を奪われ、周りの自然と合わせ、まさに自然の神秘を感じました。それだけではなく、アプローチ動線が完璧に計算されていて、素晴らしいと思いました。ハルニレテラスは、私が製図の課題でうまく表現することができなかった土地のレベル差をキレイに活かしきっていて、やはり本物の建築家さんは違うなと思いました。（3年男子）

今回見学して気に入った建築物ベスト3（参加生徒アンケートより）  
フィールドワーク2を除く

第1位

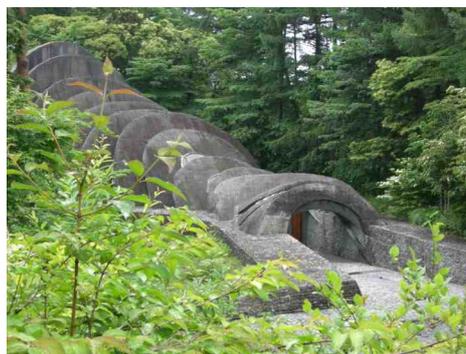
・「石の教会・内村鑑三記念堂」

第2位

・「ギャラリー桜の木」

第3位

・「軽井沢クリークガーデン」



石の教会



軽井沢クリークガーデン



ギャラリー桜の木

ちなみに、昨年度（H22）の第1位は、「軽井沢クリークガーデン」と「三五荘」。第2位は、「ギャラリー桜の木」。第3位が、「石の教会・内村鑑三記念堂」と「南暁（茶苑）」でした。例年同様な建築物が、生徒達の印象に残るようです。

### 教員感想（一部抜粋）

- ・フィールドワーク、朝の散歩等、軽井沢という保養地ならではの環境、建築を満喫できた。三五荘がこの地に移転し、保存されたことは本当に良かったと思うと同時に、中央工学校の施設、スケールの大きさにびっくりしました。研修に参加したことで得るものが多く、生徒達も楽しく建築のことを知ることができたので、満足感でいっぱいです。また、三五荘をスケッチしている生徒は真剣で、こんな姿を見るのも良いものだと思います。ありがとうございます。



- ・初めての軽井沢であり、新鮮な感動がありました。雑誌やインターネット等の情報で得られるものと、実際に現地で得られる感覚は大きく違いました。フィールドワークでは、多くの建築物を見学することができ、有意義な時を過ごすことができました。今回のフィールドワークの中で、心に残った建物について、あらためてじっくり見学したいと考えています。生徒も宿泊を伴いながらの製図講習会ということで、フィールドワークの経験ができたり、他の高校との交流ができたりと、良い活動ができたと思います。
- ・生徒と同様に、私自身も軽井沢で建築に触れるのは初めての経験であり、引率というよりも生徒と一緒にフィールドワークを楽しませていただきました。普段は車移動が主で、自転車で移動することが減多にないため、自転車で木漏れ日の中を散策することも新鮮でした。また、クリークガーデン、石の教会等は、建築としての魅力のみならず、後々に結婚を控えた身としては、結婚式場としての魅力を堪能することができました。2日目の施設見学では、生徒とは別ルートで見学をさせていただき、非常に貴重な体験をさせていただきました。少人数での見学で松田先生に直接ご説明を賜り、和を存分に味わうことができました。この研修会で諸先生方に教わったこと、自分で得たことを今後の指導に活かせればと思います。2日間、大変お世話になりました。
- ・充実した研修となりました。日常では、空間体験をしながら学習する機会が無く、今回は実際に体験を通して、良い建築について考えることができ、生徒に良い刺激となりました。また、設計事務所の方や中央工学校の先生方にレクチャーをいただき、より勉強になりました。朝のウォーキングも気持ちの良い林道を通り、別荘を見学することで、次のコンペのイメージがつかめたことと思います。このような機会を与えて下さり、ありがとうございました。1泊2日でしたが、もう少し長い期間でもおもしろいかと思いました。中央工学校さんのマナー講習のようなものも取り入れ、建築の学習を通して、生徒指導もできたらと思います。

- ・フィールドワークは、自転車の移動で大変疲れたが、軽井沢の有名な建築物等を見学でき、大変貴重な体験ができた。雑誌等で勉強するのは違う勉強ができると思った。特にギャラリー桜の木・軽井沢店の大小のアーチによって部屋の狭さを感じさせなかった。また、石とガラスのアーチによって独特な姿の石の教会などが印象に残りました。特別講演では、佐々木さんより東環境建築研究所が関わった軽井沢の建物などについての説明してもらい、いろいろなことを知ることができた。また、設計者になるためには、どのようなことが必要か良く分かった。中央工学校の研修場の見学では、中央工学校の生徒の指導方針などが垣間見られました。2日間を通して、製図分科会委員の先生方の熱意や中央工学校の松田先生をはじめ、指導していただいた先生方のヤル気が伝わり、本当に良い研修会だと思いました。ありがとうございました。





コンペ作品見学



夕食風景



三五荘前での集合写真



生徒スケッチ作品



朝の散歩（別荘見学）風景



佐々木先生（東環境・建築研究所）による  
特別講演